①見学会

狙い

- 工場見学及び講演を通して、技術情報や技術動向を現地現物で提供。13回/年 開催。
- 自動車業界のみならず、異業種やCASE/MaaS/IoT等先進技術領域の見学先も織り込む。
- 開催にあたっては、見学先と密に連携し新型コロナ感染防止対策を確実に実施。

計画内容

回数	開催月	見学先	分野	回数	開催月	見学先	分野
①	4月	キャタラー　アーク･クリエイション･センター	自動車部品	⑧	11月	名大、トヨタ博物館（北陸地区限定）	異業種
②	5月	本田技研工業　鈴鹿製作所	車体･エンジン	⑨	11月	カヤバ　岐阜北工場	自動車部品
③	6月	スズキ　相良工場	車体･エンジン	⑩	12月	童夢（若手入会キャンペーン対象者限定）	車体･エンジン
④	7月	デンソー 高棚製作所	自動車部品	⑪	1月	SUBARU航空宇宙カンパニー　半田工場	異業種
⑤	8月	堀場製作所　びわこ工場	異業種	⑫	2月	愛知製鋼 知多工場 & 鍛造工場	材料
⑥	9月	オークマ　本社工場	工作機械	⑬	2月	(仮) 川崎重工　岐阜工場	異業種
⑦	10月	ダイフク　滋賀事業所	異業種				

取り組み

- 募集規模の適正化（40→20名）やPR効果を意識したイベント告知で参加率向上を図る。
- 若手に魅力のあるコンテンツの企画・実践に重点的に取り組む。
- 若手技術者入会キャンペーンの特典（無料化）として、対象者枠5名の確保や限定見学会を開催する。

②技術講習会

狙い：

●会員の研鑽と視野拡大に貢献することを目的に開催する。
●幅広い分野からのテーマ選定により多くの参加者を見込む。
●講演者と参加者が直接交流する機会を設け、講演者と参加者それぞれの満足度向上を図る。

計画内容

回	テーマ	開催日/期間	手段・場所
1	安全・魅力なクルマづくり	4月21日(金)	対面，アクトシティ浜松
2	循環型社会とこれからのモビリティー	7月7日(金)～31日(月)	オンデマンド配信
3	(仮)サスティナブルな社会を支える技術	9月18日(月)～ 10月8日(日)	オンデマンド配信
4	市場を進化させるクルマたち	10月19日(木)	対面，三島市民文化会館
5	(仮)MaaS関連（ITSワールド共催）	11月24日(金)	対面，ポートメッセ名古屋

取り組み

- コロナ状況改善に伴い、リアル開催にも対応していく。
- 若手に魅力のあるコンテンツの企画とともに、他学会などへの呼びかけなど参加者増に努める。

③技術交流会

ねらい

同じ分野の研究・開発に携わっている技術者・研究者の研鑽と相互交流。

実施内容　開催日･方法･テーマ：

･第1回　7月14日（金）　**豊田中央研究所_アクタスＢホール（会場集合型、リアル開催）**

講師4名、参加者募集28名、**「クルマの電動化ーインホイールモータへの期待ー」**

･第2回　1月26日（金）　**ZOOM（オンライン開催）**

講師3名、参加者募集15名、**「クルマのモデルベースデザイン（仮）」**

･事前Webアンケートを実施、本会への期待と質問事項を募る。

･講師による講演、全員による全体討議（上記事前Webアンケートの期待と質問が話題の中心）、講師をリーダーとしたグループ討議の3部構成

今後の予定

・６月28日まで参加者募集、第1回を7月14日に会場集合型で開催する。

④体験型講習会

狙い　自技会活動の利用価値の理解度向上を目的として、「体験する」を開催し、会員サービスの充実を図る。

参加者には、車の挙動を体験させ、安全運転に対する再認識と、各人の運転技術を向上させていただく。

テーマ　**「日常では経験できない車の挙動体験会」**

＜交通事故は、予防できる！交通安全講習会に参加し、未来への投資をしよう!!＞

開催日・場所　2023.11.08(水)　9:00～16:30　「キョウセイ交通大学様・・・岡崎市」（募集人員：20名～40名）

運営内容　２3年度は、２2年度のプログラムと同様、下記５項目（１）～（５）を実施予定。

(1)受付時及び講習説明時に「自技会紹介と入会の案内」

(2)危険回避運転、低μ路ABS作動による「安全運転体験」

(3)スラローム、タイムアタックによる「車両挙動体験」「ステアリング体験」

(4)安全意識向上のための「死角体験」（別メニューに変更の場合あり）

(5)座学として「○○○○技術講義」（○○○○様）

注）体験型で統一するならば、他の体験プログラムに変更する事も検討中。(エアバック展開実演、自動ブレーキ体験etc　可能性を検討していく。)

＊参加者に対し技術的に又、大いに参考になる内容を精査し、今後決定していく。

上記(2)～(4)のプログラム内容については、更なる会員サービス向上の観点から引続き検討していく。

また、昨今の色々な状況を加味し、運営予算の見直し(削減等)も視野に入れ検討していく。

⑤講演会(総会)

狙い

自動車関連技術の最新情報を、自動車技術に興味を持つ多くの技術者に提供し、自動車技術の将来の展開への期待を醸成するとともに、会員以外の方には、自動車技術へ感心を拡げ、自動車技術会の新規会員獲得に繋がる事を期待する。

開催日・場所

2023年6月19日(月)　16:10～17:30

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋(名古屋市中区)

講演者

Future株式会社 CEO　井原 慶子様

講演テーマ

デジタルモビリティサービスによる脱炭素・地域経済圏創出

＜コロナ禍に商店街の人たちの苦労と声を聞いて生み出したデジタルモビリティサービス。

密にならずに脱炭素なモビリティと、地域経済圏を生み出す「GOGO！シェア」プラットフォーム等地域DXをご紹介頂く。＞

開催方式

上記ホテルでの**リアル開催**

（コロナの感染拡大等　状況変化があればオンライン開催等　総会運営方針に併せて変更もあり得る）

運営内容

自技会中部支部の新型コロナウイルス対応ガイドラインに沿った運営を徹底する。

⑥技術者懇談会

概要

目的・テーマ：所属会社、経歴の枠を越えた技術者同士の研鑽と交流による人脈作り、技術者に求められる資質・能力向上の気づきを得る。（22年度を継承）

運営：22年度を継承するが、面着や懇親会開催を望む声が散見されるため、実地開催を検討する。

実施内容

	開催日	討議テーマ（案）	募集定員
中堅技術者懇談会	2023年9月29日	エンジニアのジレンマ ～技術者自身の葛藤・経験を相互に共有し、今後に活かす～	20名 ＊中堅（35歳前後）
若手技術者懇談会	2023年12月1日	コミュニケーションってとれてる？ 職場や身近な人との人間関係をよりよくするために今すること・できること	20名 ＊若手（25～29歳位）
女性技術者懇談会	2024年2月16日	私の働き方	20名

今後の予定

入会促進を目的に、22年度は参加費無料で開催したが、入会者は２名と限定的。
23年度は他事業との横並びを考慮し、参加費を徴収する。正会員2,000円、非会員5,000円と設定予定。

⑦中部支部報

概要

目　的：会員の幅広い知識、見識の一助となる情報を提供する。

発刊予定：93号　2023年9月27日，　94号　2024年2月1日

運　営：会員が興味を持てるような特集記事を構成し、読みやすく、わかりやすい表現になるよう心がける。
電子化に伴う記事構成の変更や写真枚数・動画や文字サイズの調整、広告に関するページネーションの変更や　掲載方法・価格の見直しなどを進め、一層のサービスの向上につながることを目指す。

実施内容(詳細別紙)

93号について

編集担当　：編集長　石川 良輔(スズキ)、副編集長：西澤 幸男(アドヴィックス)

特集テーマ：未来の暮らしを創る(仮)

記事構成　：特集(5件)、シリーズ中部(1件)、自動車の豆知識(2件)、モータースポーツ(1件)、いっぷくしよまい(6件程度)、
支部事業紹介(2件)、会員の広場(1件)、支部事業報告を予定

94号について

編集担当：編集長　山田昌彦（愛知機械）、副編集長：伴　和義（三菱自動車）

編集活動：４月に活動を開始。特集テーマ・取材記事検討に着手。

今後の予定(詳細別紙)

93号　2023年1月開始し1から2回／月の委員会を設定済

94号　2023年4月開始し1から2回／月の委員会を設定済

⑧学生自動車研究会

概要

学生会員の自動車技術への関心を深め、会員相互の親睦を図る。

2022年度の事故を教訓に、安全を強く意識してイベントを計画・実施する。

実施計画

行事	頻度	狙い
学生委員会	5回（4月、7月、10月、12月、2月）	イベント計画、イベント準備の進捗確認、イベント報告、など
参与会	2回（4月、10月）	イベント計画確認、イベント報告
安全ミーティング	5回（4月、7月、10月、12月、2月）	安全意識向上
安全講習会	5回（5月、6月、7月、9月、11月）	安全のための知識の習得
支部合同試走会	3回（5月（中止）、7月、8月）	大会に向けた車両開発、ドライバートレーニング
中部支部試走会	1回（9月）	翌年の車両開発のためのデータ取得
カート走行会	1回（2月）	運転技術向上、レースオフィシャルの練習、大学間の交流
交流会	4回（7月 x 2、8月、10月）	学生フォーミュラのチーム運営、静的競技などを題材に議論し、大学間の交流を図る
ものづくりセミナー	1回（5月）	ものづくりにおける、重要なポイント、楽しさ、難しさを、新入生に体験してもらう
テクニカルセミナー	1回（12月）	エンジンに関する知識・技術の向上
レーステスト見学	3回（10月、2月、3月）	レースチームメンバーとしての動きや、最新のレースにおける技術を学ぶ
学術講演会	1回（3月）	自動車に関する研究を相互に発表し、最新研究について知見を深める

⑨社会貢献「キッズ・モノづくりワンダーランド」

概要

狙　い：子供たちのモノづくりに挑戦する楽しさや感動の育み。将来のエンジニア誕生のきっかけ作り。
開催数：中部地区７県にて年９回、および本部主催のキッズエンジニアにも参加
内　容：「ウインドカー作り(W)」「エンジン分解組立(E)」「ロボットカープログラミング(R)」
「学生フォーミュラカー展示」（3拠点で計画）

実施内容

第1回 4月23日 瑞浪市 サイエンスワールド(W,E)
第2回 5月28日 豊田市 とよた科学体験館(W,E,R,F)
第3回 6月18日 黒部市 黒部市吉田科学館(W,E)
第4回 7月22日 七尾市 のと里山里海ミュージアム(W)
第5回 8月4,5日 キッズエンジニア(W)@ポートメッセなごや
第6回 8月27日 四日市市 そらんぽ四日市(W,E)
第7回 9月16日 松阪市 みえこどもの城(E,R)
第8回 10月8日 坂井市 エンゼルランドふくい(W,E,R,F)
第9回 10月28日 富山市 富山市科学博物館(E,R,F)
第10回 1月14日 焼津市 焼津科学天文館(E)

コロナ対策

感染対策は、2022年度と同様に開催館と協議しながら決定していく。

⑩新技術領域への取組

概要

目　的：21年度/22年度で経験し、ノウハウを確立した告知・認知活動および非会員企業/団体との共同活動から入会活動に結びつける取組を継続する。また課題となっている中部支部予算との成立性を図り、次年度以降も本活動が継続的に入会勧誘事業としての成果があげられるための土台づくりを行う。

開催日：22年11月に委員会活動キックオフして以降、2回/月の頻度で委員会を開催。

テーマ：　24年度以降活動企画の土台作り

運　営：　委員会メンバー５名および中部支部事務局サポートメンバーにて委員会構成し、委員会開催。
また、本部の展示会WGにオブザーバとして参加。

実施内容

アジェンダ: 下記のイベントに関し、24年度の方向性を決める（一部22年度より継続）

①24年度以降の人テク名古屋中部支部リアルブース出展　　（イベント運営会社とブース内容を検討中）

②協力企業との共同活動成果を中部支部HP等に掲載　（中部支部事務局と掲載内容を検討中）

③中部支部ポスター等により認知・告知活動を展開　（23年度ポスター完成。次年度以降の製作方法を手順化）

今後の予定

23年10月までに実施内容を確定し、11月より24年度リアルブース対応に向けたキックオフができるよう準備する。

⑪ワーキング(人テク) a.研究発表会

概要

目　的：若手技術者の発表機会、新技術を支える基礎技術の告知機会を創出

開催日：2023年7月6日（木）10:30～16:05

運　営：実開催（Aichi Sky Expo 特設会場にて）

実施内容

テーマ	No.	発表者		タイトル
要素技術	1	株式会社 アドヴィックス	戸澤　数馬	AHB-G大流量ギヤポンプ開発
	2	アイシン高丘 株式会社	田中　芳弥	FCEV向け FCスタック用ターミナルの開発
	3	株式会社 東海理化	片岡　研人	UWB無線システムによるデジタルキーの高精度測位技術開発
シャシ・ボデー/ フリー	4	株式会社 ジェイテクト	玉泉　晴天	リンクレスステアバイワイヤの開発
	5	豊田合成 株式会社	上條　隆明	UVC-LED による空調機向け抗ウイルスダクトに関する研究
要素技術	6	トヨタ車体 株式会社	池田　貴恭	自動車向け植物材料の汎用化に向けた開発
	7	株式会社 アイシン	野末　勝也	ニューマチックメカ式バルブの開発
要素技術	8	大豊工業 株式会社	児玉　勇人	エンジン軸受用銅合金への潤滑油添加剤による境界膜の活用
	9	ジヤトコ 株式会社	小田　敏弘	貧潤滑環境下での耐力を向上させる歯車材料・工法の開発
	10	日本特殊陶業 株式会社	市橋健太郎	圧電セラミックス/デバイスの紹介と次世代モビリティ分野への適用可能性

テーマ	No.	発表者		タイトル
パワートレイン	1	株式会社 豊田中央研究所	池戸　隆人	機械学習によるモデリング手法を活用した後処理状態推定　－ NOx吸蔵還元型触媒モデルの提案と実機データによる精度評価 －
	2	株式会社 日産オートモーティブ テクノロジー	千葉　智喜	軽EVの長距離移動を実現するバッテリ冷却と急速充電制御の最適化
	3	大同メタル工業 株式会社	安藤　彰	自動車エンジン用多層ビスマス-アンチモンオーバレイ付き軸受の開発
パワートレイン	4	トヨタ自動車 株式会社	宮元　敬範	水素エンジンにおける異常燃焼の発生メカニズムの解析
	5	トヨタ紡織 株式会社	後藤　達也	樹脂タイミングチェーンカバーの開発
操安性/ フリー	6	ヤマハ発動機 株式会社	山口　翔大	マルチボディダイナミクスモデルによる集中剛性を含む二輪車運動方程式の再現
	7	トヨタテクニカル ディベロップメント 株式会社	村口　和裕	電動車の大規模リアルタイムシミュレータにおける低遅延FPGA間通信技術
エレクトロニクス/ 環境	8	株式会社 デンソー	中屋敷　侑生	走行中非接触給電システム向け送電コイル自動通電切替技術
	9	スズキ 株式会社	長内　弘樹	車載リチウムイオン電池をリユースした街灯の開発

今後の予定

事前レクチャー（5月中旬～6月下旬），前刷り集集約　～6/22

⑪ワーキング(人テク) b.講演会

概要

目　的：本部企画展示テーマに合わせた講演を選定し、技術者に興味を持っていただき入会につなげる。

開催日：2023年7月5日（水），コンテンツ配信：7月12日（水）開始。

会員外は7月19日（水）まで、会員は7月28日（金）まで、閲覧可能。

テーマ：英知を集結しよう！カーボンニュートラル、その先の循環型社会へ

運　営：実開催（Aichi Sky Expo 特設会場にて），Live配信(+録画)、 後日 コンテンツ配信

実施内容

所属	氏名	タイトル
三菱重工業株式会社 カーボンニュートラル推進室	室長 森原 雅幸　氏	三菱重工グループのカーボンニュートラル宣言「MISSION NET ZERO」実現に向けた取組
名古屋大学 未来材料・システム研究所	准教授 今岡 淳　氏	車載用パワーエレクトロニクスの技術動向と高性能化へ向けた応用事例

今後の予定

当日の運営について、自技会本部（大成社）との詳細調整